

-----3月16日-----

今週のアウトルック（3/16～3/20）

先週は前半に円高が進み、後半に円安が進むという展開でした。

ドル高要因とされていた米国のリパトリは少し落ち着いたような状況です。ただ、突発的なドルの大きな買いが入ることがまだありそうなので、注意する必要があるように思います。

今週もレンジ的な動きから大きく外れることはまだないように思います。ドル円は100円を超えられなかったことで、方向感が見いだせない状況はまだ続いています。ポジション的にはドルロングに少し偏っているようなので、利益確定に押されてしまえば94円程度までの円高は考えられるように思います。ドル高の上限は99円あたりで考えています。

ユーロについては基本的にレンジ的な動きを考えていますが、対スイスフランについては注意が必要です。スイス政府は状況によっては追加介入の可能性を示唆しています。実際に介入がない場合でも介入警戒感から動きは制限されてしまいそうです。

ユーロ円のレンジは122円から128円あたりで考えています。

ポンドについても難しい状況です。

対スイスフランの状況と、金融関係の格下げ、決算関係の悪化予測は不確定要因です。先週のように大きく振られてしまうことは今週も十分考えられます。

130円から141円程度までの大きなレンジを想定しています。突発的に大きな動きがあるようにも思いますが、その流れに無理に乗ろうとしないほうが賢明なように思います。

全体的に不安定な動きを想定しています。

各国要人の発言にも、よりいっそうの注意が必要ないように思います。

システムトレード的アドバイス

「トレードレコードからのシミュレーション」

トレードレコード（トレード成績）はFX取引会社のトレード

画面にきちんと表示されます。なのでご自分のエクセルファイルなどにわざわざダウンロードして管理する必要はないと考えている方は意外に多いようです。

エクセルで管理する利点の一つとして、シミュレーションができることがあげられます。

- ・ 損切りの値を一律1円マイナスにセットしていたが、これを80銭マイナスにセットしていたらどうなっていたか
- ・ どうしても勝ちトレードが続くとトレード枚数を増やす傾向にあったが、これを常に一定のトレード枚数でトレードしていたらどうなっていたか

など、損切りのシミュレーションはトレード期間のレートをチェックする必要があるので面倒な面もありますが、今後のトレードに向けて良いアドバイスを与えてくれることは多いと思います。

「今週のトレードはトレード枚数を変えずに常に一定の枚数でトレードしていたら、マイナスにならずプラスになっていたはず」というようなことに気づくことも多々あるように思います。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。